

| | | |
|---|-------------|-----|
| 科目名称： | 幼児と言葉 | |
| 担当者名： | 三浦 哲志、太田 淳子 | |
| 区分 | 授業形態 | 単位数 |
| 専門教育科目 | 講義 | 1 |
| 授業の目的・テーマ | | |
| 領域「言葉」の指導に必要な基礎的知識を身につける。具体的には「言葉」の意義と機能について理解した上で、言葉に対する感覚を豊かにする実践や教材に関する知識を身につける。 | | |
| 授業の達成目標・到達目標 | | |
| 言葉の発達過程について、講義、映像資料を通じて学び、グループワークによって考察を深める。毎回、学習成果について、課題の提出により確認する。 | | |

| | | |
|--------|---|------|
| 幼児教育学科 | ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針） | 重点項目 |
| DP(1) | 建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。 | |
| DP(2) | 優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。 | |
| DP(3) | 幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。 | ○ |
| DP(4) | 学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身につけている。 | |

| 評価方法/ディプロマポリシー | 定期試験 | クイズ 小テスト | 提出課題 (レポート含む) | その他 | 合計 |
|----------------|------|-------------|------------------|-----|-----|
| 幼児教育DP(1) | | | | | 0 |
| 幼児教育DP(2) | | | | | 0 |
| 幼児教育DP(3) | | 40 | 40 | 20 | 100 |
| 幼児教育DP(4) | | | | | 0 |
| | | | | | 100 |

| | | |
|--------------|--------------------------|---------|
| 実務経験のある教員の担当 | 担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載） | |
| なし | 《内容1》 | 《経験年数1》 |
| | 《内容2》 | 《経験年数2》 |
| | 《内容3》 | 《経験年数3》 |
| | 《内容4》 | 《経験年数4》 |

| 評価ルーブリック | すばらしい | とてもよい | よい | 要努力 |
|----------|-------|-------|----|-----|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| 授業の内容・計画 | 事前事後学修の内容 | 事前事後学修時間(分) |
|--------------------------|-----------------------------------|-------------|
| 第1回 授業の概要説明 | 言葉の意義と機能についてテキスト該当箇所を予習する | 30分 |
| 第2回 言葉の意義と機能を学ぶ | グループワークでの学修成果について小レポートにまとめる | 30分 |
| 第3回 話し言葉や書き言葉の意義と機能を学ぶ | 話し言葉と書き言葉について要点を小レポートにまとめる | 30分 |
| 第4回 言葉の発達過程を学ぶ | DVD視聴とグループワークでの学修成果について小レポートにまとめる | 30分 |
| 第5回 書き言葉の習得について学ぶ | 書き言葉や小学校との連携について要点を小レポートにまとめる | 30分 |
| 第6回 言語に対する感覚を学ぶ | DVD視聴とグループワークでの学修成果について小レポートにまとめる | 30分 |
| 第7回 言葉の美しさ・楽しさについて感じる | 領域「言葉」について要点を小レポートにまとめる | 30分 |
| 第8回 言語に対する感覚を豊かにする実践を学ぶ | 学修内容を踏まえて課題に沿って俳句を自作してみる | 30分 |
| 第9回 言葉遊びの保育への取り入れ方を学ぶ | 学修内容を踏まえて言葉遊びの実例について調査する | 30分 |
| 第10回 「児童文化財」の概要を学ぶ | 児童文化財の概要について要点を小レポートにまとめる | 30分 |
| 第11回 「児童文化財」の意義を学ぶ | 児童文化財の意義について要点を小レポートにまとめる | 30分 |
| 第12回 「児童文化財」の種類や歴史を学ぶ | 日本の幼児教育の歴史について要点を小レポートにまとめる | 30分 |
| 第13回 「児童文化財」の取り入れ方を学ぶ | 絵本に関するグループワークでの学修成果について小レポートにまとめる | 30分 |
| 第14回 「児童文化財」の実践について学ぶ | 絵本に関するグループワークでの学修成果について小レポートにまとめる | 30分 |
| 第15回 まとめと今までの確認テスト(小テスト) | これまでの学修成果をまとめ、確認テストに備える | 60分 |

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業内提出課題(40%)、授業内発表内容(20%)、確認テスト(小テスト)(40%)

課題に対してのフィードバック

授業内課題は評価して返却する

教科書・参考書

テキスト 『コンパス 保育内容 言葉 第2版』

参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」